2016年6月：JaCVAM活動マンスリーレポート

NO.	項　　目	記　載　内　容
和文総説		
1	著者名	小島　肇
	総説題名	医薬品，医薬部外品，化粧品の安全性評価に用いることができる代替法
	雑誌名、巻（号）、ページ、年	薬剤学，76（4），243-246（2016）
国内学会		
1	発表者名	小島　肇
	演題名	医薬品に係わる新添加剤の安全性評価における諸課題
	学会名，発表年月及び場所	第43回日本毒性学会学術年会（2016.6）（名古屋）
2	発表者名	小島　肇
	演題名	経済産業省プロジェクト「石油精製物質等の新たな化学物質規制に必要な国際先導的有害性試験法の開発：Arch-Tox」の計画概要
	学会名，発表年月及び場所	第43回日本毒性学会学術年会（2016.6）（名古屋）
3	発表者名	伊藤浩太[*1]，榊原隆史[*1]，古川正敏[*1]，奥村宗平[*1]，越田　美[*1]，川村公太郎[*1]，松浦正男[*1]，小島　肇
	他機関所属の著者がいる場合には所属機関名を記載する	[*1] 株式会社化合物安全性研究所
	演題名	牛摘出角膜を用いた混濁度及び透過性試験（BCOP法：眼刺激性代替法試験）における角膜病理学的検査により弱刺激性物質の評価
	学会名，発表年月及び場所	第43回日本毒性学会学術年会（2016.6）（名古屋）

国際学会		
1	発表者名	Hajime Kojima
	演題名 （和訳を括弧書きで記載）	Japanese activities for alternative to animal testing around the world(国際社会の中での動物実験代替法に関する日本の活動)
	学会名，発表年月及び場所	6th Workshop & Training of Alternative Methods (2016.6) (Guangzhou, China)
レギュラトリーサイエンス学会		
1	参加者名	小島　肇
	会議名（英文の場合は和訳も記載）	ICCA-LRI and NIHS workshop Meeting ″the Global Challenge of Applying New Scientific Methods to Improve Environmental and Human Health Risk Assessment″（環境および人健康リスク評価のための新科学方法を用いた国際的挑戦）
	開催場所，年月	淡路島，兵庫（2016.6）
	会議内容（１５０字以内）	参加者は環境および人健康リスク評価のための４セッションのいずれかに参加し，シンポジストの発表を聴講後，パネルディスカッションがなされた．私はセッション本会議全体の座長を務め，この会議の進行を担った．